

【学校経営の基盤】

- ・日本国憲法 ・教育基本法 ・教育関係法令 ・学習指導要領
- ・東京都教育委員会教育目標 ・東京都教育施策大綱 ・新島村教育委員会教育目標
- ・児童、生徒の実態 ・保護者、地域の思いや願い ・学校運営連絡協議会 ・地域の特色など

【学園教育目標】

式根島の豊かな自然と郷土の文化に愛着と誇りをもち、子供たちが、知性、感性、道徳心と体力を育み、社会の変化に主体的に対応できる力と人間性豊かに生きる力を培い、式根島の小・中学校9年間を見通した教育活動を展開する。

ふるさと式根島を愛し、心身ともにたくましい子供（小中共通）

【目指す生徒像】

- ◎ (1) 自ら学び考え解決する生徒 : 「問題解決力」
- (2) 自分も人も大切にできる生徒 : 「人間関係形成力」
- (3) 自ら見通しをもち実践する生徒 : 「実践力」

【目指す学校像】

- ◎ (1) 生徒にとって「もっと学びたい、もっと成長したい、と思える学校」  
学ぶ喜びや未来への希望があふれ、一人一人が生き生きと活動し、生徒がもつ能力や個性を伸ばせるよう「知・徳・体」のバランスの取れた育成を図る。
- (2) 保護者・地域にとって「信頼できる、協力したい、と思える学校」  
積極的に学校を開くとともに、保護者・地域の教育力や教育資源を活用しながら教育課程を編成し、豊かな教育活動を行う。
- (3) 教職員にとって「この職場で力を付けたい、貢献したい、と思える学校」  
教職員が同僚性・協働意欲を高め、各々が専門性と持ち味を發揮しつつ切磋琢磨し、資質・能力を高め合えるOJT体制を構築する。

【目指す教師(職員)像】

- ◎ (1) 常に学び続け、豊かな人間性と高い専門性を希求し続ける教師(職員)
- (2) 生徒理解に努め、子供への愛情と教育への熱意にあふれる教師(職員)
- (3) 人権感覚を磨き、学校教育に携わる自覚と誇りをもち教師(職員)

【学校教育目標の達成を支える取組】

- ① 地域に開かれた学校として教育活動や学校評価を公開し、学校運営連絡協議会制度の活用を推進する。
- ② 地域の教育資源(人・物・こと)を積極的に学習に活用したり、部活動の地域展開で活用したりすることを踏まえ、持続的に地域人材の発掘や確保に努めるとともに、「地域学校協働活動」を推進する。
- ③ 特別な配慮や支援を必要とする生徒への理解を深め、保護者や関係諸機関、接続した保育園や小学校、また、高校との連携を密にして、きめ細かな指導を計画的に推進する。
- ④ 主体的に健康の保持増進や体力向上に取り組む態度を育成するため、運動能力や体力テスト等のアセスメントの結果を活用した授業改善の取組や保小中合同運動会をはじめ、地域の体育的行事への積極的な参加を推進する。
- ⑤ 「学校2020レガシー」として、豊かな国際感覚や多様な他者への理解を深めるため、教科等横断的な学習や国際交流、人権学習等の教育活動を推進する。
- ⑥ GIGAスクール構想に沿った教員研修を進め、デジタルを活用した授業力の向上を図りながら、情報モラル教育も含めた情報活用能力等の育成に努め、Society5.0時代に対応できる力を育成する。
- ⑦ 地域の信託に応えるため、教育公務員としての職責を十分に理解し、専門的知識はもとより、豊かな人間性と使命感を希求しながら教員研修を推進するとともに、サービスの厳正に努める。
- ⑧ 「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を目指し、式根島学園として「コミュニティ・スクール」制度の導入や「義務教育学校」化を見据えた校内組織等の検討を行う。

【ふるさと式根島を愛し、心身ともにたくましい生徒の育成のための方針】

【自ら学び考え解決する】→「問題解決力」の育成

- ① 主体的・対話的で深い学びを目指し、生徒が問題を主体的に捉え、自ら考え協働して問題解決を図る学習の推進。
- ② 各教科等でICT機器等の活用や言語活動を充実させたり、生徒の学習状況による授業評価や各種学力調査等の結果に基づいた「授業改善推進プラン」を作成し、実施・検証・改善を図ったりすることで、学力向上を推進。
- ③ 多様化した生徒一人一人の能力や個性に応じたきめ細かい指導を充実させるとともに、学習意欲の向上や学習習慣の確立を目指し、指導体制の充実と整備を推進。
- ④ 学習の見通しや振り返りを重視し、「学習シート」を活用した授業改善を推進。

【自分も人も大切にできる】→「人間関係形成力」の育成

- ① 人権教育を推進し、自分も人も大切にできるモヤイの精神と態度を育み、全教育活動を通じて「心の教育」を推進。
- ② いじめや不登校の未然防止を図るために、校内委員会を効果的に活用し、「いじめ防止基本方針」を基に早期発見と早期対応に努め、「教育相談週間」による個別面談等の活用を推進。
- ③ 「特別の教科 道徳」において、指導の充実を努め、適切な評価を行うとともに、道徳的実践力の向上を図り、各教科・領域等横断的な指導を推進する。
- ④ 生徒のリーダーシップ・フォロワーシップを育成するため、生徒会活動や小中合同の縦割り活動等を通じて、子供同士の交流活動を推進。

【自ら見通しをもち実践する】→「実践力」の育成

- ① 外部人材や関係諸機関等と連携し、島内外での職場訪問・職場体験等を中心とした体験的な活動を通して、望ましい勤労観や職業観を身に付け、キャリア教育の充実を推進。
- ② 小中一貫教育校式根島学園として「ふるさと式根島」に誇りをもち、自信をもって島の未来を考える生徒の育成を目指し、小・中学校で系統的な郷土理解学習「式根島未来会議」を通じて自分の考えたことを実践する活動を推進。
- ③ 自分の将来を見通した「在り方・生き方指導」として、新島村連携型一貫教育プログラムや新島村版「キャリア・パスポート『夢を拓く』」等を活用するとともに、STEAM教育など、各教科・領域等の横断的な学習を推進する。

【学校として重点的に指導する主な取組】

- <各教科>
  - ・生徒の主体的な学習の見通しと振り返りの充実……全教科で『学習シート』を活用した学習活動の実践
  - ・「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善……各教科等において多様な言語活動を取り入れた学習
  - ・個別最適な学びの充実……生徒一人一人の学習状況や習熟度に応じた学習や自己選択・決定できる学習
  - ・情報リテラシーの育成……一人1台端末を含むICT機器等を目的や効果に応じて活用できる学習
  - ・豊かな国際感覚の育成……ALT等の効果的な活用や国際理解教室、TGGプログラムを積極的に活用した学習
- <特別の教科 道徳>
  - ・「意図的・計画的・継続的な道徳教育」……学校としての重点項目として「社会参画・公共の精神」を設定
- <総合的な学習の時間>
  - ・系統的な「郷土理解学習」とキャリア形成……義務教育9年間の発達段階を見通した、ふるさと式根島を題材とした「式根島未来会議」による、主体的、協働的、体験的、探究的な学習活動の実践
- <特別活動>
  - ・リーダーシップとフォロワーシップの育成……生徒が企画・運営する生徒会活動や学園縦割り活動等の実践
- <確かな学力を育成するための活動>
  - ・汎用的能力の育成……放課後の個別学習『STEP2』や朝の10分間読書、各種検定試験等の取組への支援
- <豊かな心と健やかな体と育成するための活動>
  - ・基本的な人間関係づくりと支援が必要な生徒への対応……SCの活用や校内委員会等による組織的な対応
  - ・学習に向けての心の準備や体の調整……始業前の『アレンジタイム』の実施
- <創意工夫を生かした活動>
  - ・9年間の教育課程の系統・連続・統一性の深化、充実、拡大……連携授業、協力授業、合同授業の実践
  - ・自分たちの学校や地域に貢献する心の育成……年間を通しての「環境整備の時間」や地域美化活動の実施
- <生活指導>
  - ・基本的生活習慣の確立と規範意識の向上……保護者、生徒との面談を通じた生徒理解、生徒指導の実施
  - ・問題行動等の早期発見・早期対応、未然防止……関係諸機関との連携や対策委員会常設による組織的な対応
- <進路指導>
  - ・望ましい勤労観・職業観の育成……島内外での職場訪問・職場体験等の実施、『夢を拓く』の効果的な実践